

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年10月5日観測結果

貧酸素水塊は先週より南下して分布しており、その中心は内湾最深部付近となっていました(図1, 2)。また、規模は先週より拡大し、ほぼ例年並みとなりました(図3)。酸素量 0.5ml/L 以下の水塊がまだ相当量ありますので、北寄りの風が吹くときは青潮の注意が必要です。

表層の水温は22~23 でした。湾奥は海面が褐色を呈していましたが、その他の海域では赤潮は認められませんでした。

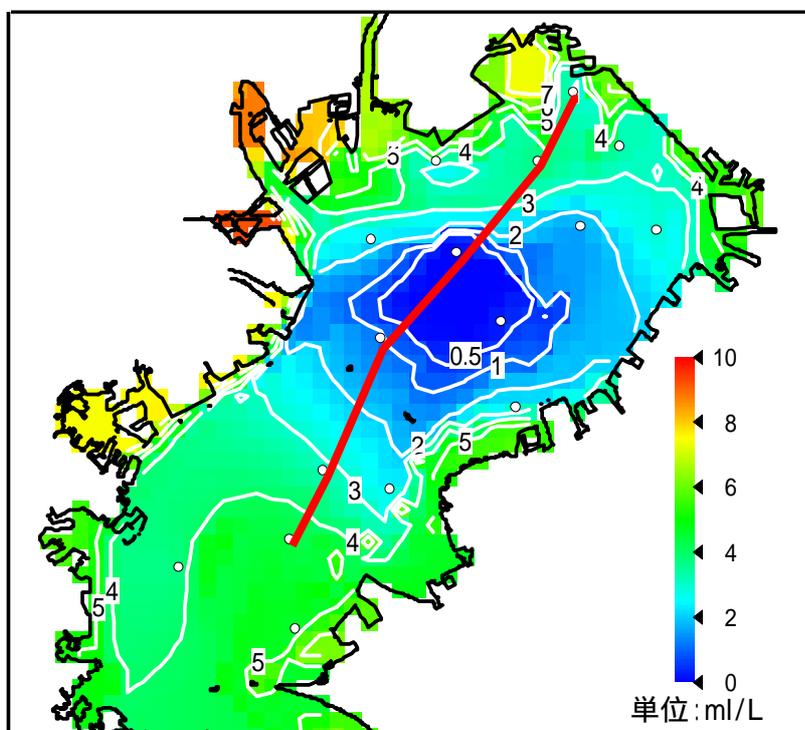


図1 底層の溶存酸素量分布 (赤線は縦断ライン)

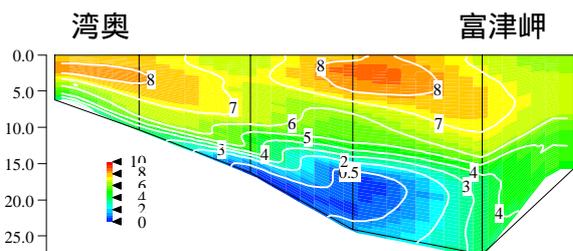


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

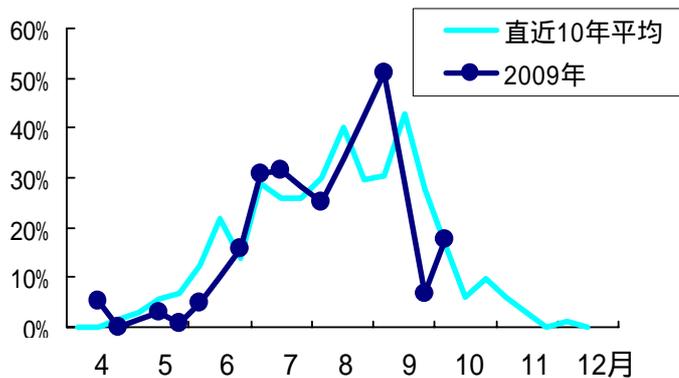


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)